

[分析]イトーヨーカドー独立運営と地域別 MD の進捗

独立運営店舗 1 号店 アリオ上尾店 & 上尾駅前店

城取フードサービス研究所

城取 博幸

地域別MDのモデル店となったイトーヨーカ堂アリオ上尾店を視察し、売場、商品をチェックしてみた。埼玉県物産観光協会（一般社団法人）の紹介する商品の一部が食品売場で販売されている。協会と連携し、その商品を販売することで、店の売上アップと地域の発展が望めるいいアイデアだ。「協会の紹介している商品が店にある」となれば、お客も実際に手に取って商品を確認できる。大型店チェーンは、NB商品やPB商品を中心に販売してきたが、地域商品を多く導入することで、より地域と密着できる。客の立場で埼玉県の名産品めぐりは、その地域の食文化を知る意味においても興味深い。

地域別MDで売場、商品はどう変化したか

青果売場には、「近郊野菜コーナー」が埼玉県の野菜が並ぶ。48名の生産者の顔写真が貼られ、「顔が見える野菜」を販売している。「川越のさつまいも（紅東）」のケース販売もされている。その前では、焼き立ての「焼き芋」も販売し季節感のある売場を演出している。

日配品売場では、「地場漬物」を縦割りでコーナー化し、国産野菜を使った漬物を陳列。生麺コーナーでは、久喜市の「田中製麺」のコーナーがあり、「中山道宿」と書かれた生うどんや生そばを販売。この辺は麺がよく食べられている地域。さらに、豆腐コーナーには、本庄市の「三之助豆腐（もぎ豆腐店）」や、北本市の「太田屋の豆腐」の豆腐や揚げがコーナー化され品揃えされている。

水産品は、海なし県であるため、あまり目立ったコーナー、商品は見られなかった。精肉売場で一番印象に残ったのは「豚カシラ焼肉用」と、東松山市（販売者）の「ひびき みそだれ」を組み合わせ「焼きとん」の提案をしている。東松山市は、やきとり、やきとんをよく食べられる地域であるため、的を射た販売だ。

洋日配のコーナーでは、日高市の加藤牧場のコーナーがあり「瓶入りの低温殺菌牛乳」やヨーグルトを販売。さらに、アイスクリームコーナーでは、上尾市の榎本牧場の「こだわりアイス（アイスマルク）」も品揃え。（株）和菓子は久喜市 矢納製菓「おはぎ」を販売。

ドライ食品では、日本三大茶の一つの「狭山茶」が全国に知られて、お茶の専門店もあるので、品揃えは少ないが、所沢市（株）新井園本店の「狭山茶」を

販売。埼玉県のマスコット「コバトン」や「彩の国さいたま」のロゴも入っていて行政も積極的に支援しているようだ。また、乾麺コーナーでは、加須市の松井産業の「手ぼしうどん」など地元の乾麺も品揃えされている。

さらに、カレーコーナーでは、上尾市のスパイスメーカー井上スパイス工業(株)の「アッピーカレー」のカレー粉(フレークタイプ)とレトルトカレーも販売。埼玉県は「草加せんべい」が有名。さいたま市 片岡食品「ねぎ味噌煎餅」など珍しいせんべいも販売。地酒は、上尾市の酒蔵文楽の生粋寒仕込「上尾育ち」の限定品も販売されている。

購入したのはほんの一部であるが、埼玉県の名産品と食文化を知ることができた。

今後の課題

1. 地元商品をさらに発展させるために、どう「横系」を通すか

埼玉県産のさつまいも(紅東)などが生産者コーナー販売されているが、青果売場の「焼き芋機」で焼かれていたのは、たまたま売り切れていたかもしれないが、売場には鹿児島産の「安のう芋」「紅はるか」の焼き芋もであった。大宮駅前店では「茨城産」のさつま芋が焼かれていた。生産量の問題もあるかも知れないが、地元産の生芋からさらに拡大して「焼き芋」「干し芋」「芋天ぷら」「芋けんぴ」まで拡大させたら「横系」が通り、さらに楽しみが増えるような気がする。

2. どこまで惣菜のメニューに導入できるか

アリオ上尾店では、地域の名産品を使った惣菜は確認できなかった。大宮駅前店の米飯売場では、坂戸市の「弓削多醤油(株)」の醤油を使った「焼きおにぎり」のコーナーが印象的であった。醤油のサンプルも展示されていた。地域とコラボしたメニューだ。品数は少なくとも地域の味の品揃えがほしい。できれば「アッピーカレーライス」なども販売してほしい。惣菜は地域の食文化と密接な関係があるだけに、米や野菜などの農産物を使ったメニューが続々と登場することを期待したい。

3. どこまで維持、拡大ができるか

ドライ食品売場のエンド展開では、上尾駅前店は「地元せんべい」と「地酒」はエンドでコーナー展開していたが、アリオ上尾店は、定番に組み込まれた形になっている。NB商品、PB商品との組み合わせの棚割り難しいと思うが、今後、PB商品、NB商品にプラスして、地元商品どう維持、育成して行くかが課題のように思われる。

店で地元名産品めぐりをさせていただき、どうして今までこうした売場がなかったのか不思議なくらいである。食品小売業の原点に立ち返り、地域と共生（地域と生きる）する小売業として、さらに、発展、拡大されることを期待して止まない。いかに地域産業の発展に貢献することが「企業の社会的責任」でもあるように思われた。

購入商品



埼玉県産 上富産直組合「紅東」(上尾店 以下上尾店) 1袋 299円(税込、以下略)

繊維質が少なく皮ごと食べられる。ホクホクとした食感。



茨城県産 焼き芋 1袋149円(大宮駅前店購入)

中型サイズの大きさに、繊維質が少なくホクホクとした食感



深谷市 (有) 高田食品「国産 割干昆布大根」(以下上尾店) 200g 1パック 245円

国産の割干し大根と切り昆布を醤油と酢で漬けたもの。パリパリとした食感で昆布の風味もよい。



久喜市 田中製麺（株）「中山道宿 生うどん」 2食 1袋235円
 「彩の国 良品ブランド」の印刷。平打ち麺でコシがあるうどん。のど越しもよい。



久喜市 田中製麺（株）「ひきぐるみ 生そば」 2食 1袋 235円
 「彩の国 良品ブランド」の印刷。そば粉よりも小麦粉の方が多いが、逆にモソモソせず食べやすいそば。



埼玉県 北本市（株）太田屋 「国産大豆 大地 木綿豆腐」300g 1丁
 127円
 大豆の甘味とにがりの渋さのバランスが良い。少し硬めの木綿豆腐



販売者 東松山市 （株）ひびき「ひびき みそだれ」 110g 1瓶
 537円
 ニンニクと唐辛子、生姜の味が効いている大人の味の調理味噌。



「国産 豚カシラ焼肉用」 100g 198円 1パック338円

豚の首から頭にかけての肉。埼玉県東松山市は、北海道室蘭、愛媛県今治市と並ぶ「やきとり」「やきとん」の「日本三大やきとり」の産地



「国産 紅まさり カリカリ大学芋」 1パック 195円

惣菜売場で売られていた国産紅まさりのさつま芋を使った大学芋。外はカリカリ、中はホクホクの食感



久喜市 矢納製菓（株）「おはぎ 粒あん きな粉」 2個入り 1パック 213円

惣菜のおはぎと違い、常温で日持ちをさせるため、少し甘めになっている。昔の懐かしい味



日高市 加藤牧場「ノンホモ 低温殺菌牛乳」200ml 1本194円

口に含めば少し薄い感じがするが、これが本来の低温殺菌牛乳の味。スッキリ

とした後味



上尾市 榎本牧場「こだわりアイス」 140ml 1パック 324円
アイスマルク（無脂乳固形分9.2% 乳脂肪分6.8%）であるため、濃厚な味とはいかないが、食べやすいアイス。いろいろなフレーバーがある。



加須市 松井産業(有)「手ぼし御膳」 120g 1袋 111円
細長い平打ち麺。なめらかでコシがあり、ツルツルとした食感。111円は安い。



上尾市 井上スパイス「レトルトカレー」 1袋 512円
「スパイスカレー フレーク」 1袋 409円
ナガホリ農園の小松菜と酒蔵文楽の酒粕を使用し、小麦粉を使わず米粉でとろみを付けたというこだわりカレー。



所沢市 （株）新井園本店「彩めぐみ 狭山茶」１００ｇ １袋５９４円
日本三大産地（宇治、静岡、狭山）の一つ。深みのある味わい



さいたま市 （株）片岡食品「ねぎ味噌煎餅」 １枚７５円
「のり丸煎餅」 １枚７５円
「こげめし煎餅」 １枚７５円

詰め合わせの他に、１枚の小包装も販売されている。「ねぎ味噌」「こげめし」は珍しい



上尾市「文楽 純米吟醸 上尾育ち」７２０ｍｌ １本 １４０４円
純米吟醸 生粋寒仕込「上尾育ち」の限定販売品。